すべてのこどもに適切な小児医療と快適な闘病生活を

特定非営利活動法人（NPO）こども医療ネットワーク

こども健康相談会　in 大和村 報告書

日時：平成24年11月17日（土）
場所：大和村中央公民館講堂

参加者：名越太（宇検村・大和村診療所歯科）
今村直人（今村小児科・アレルギー科）
大和村役場保健福祉課保健師、鹿児島県立大島病院小児科

本法人の詳しい情報は：
099-275-5354（本部：鹿児島大学小児科）
http://www.kodomo-iryo.org/

当日は残念ながら雨となりましたが、保健師さんはじめ大和村役場の方々にご協力頂き、無事開催できました。
大和村は、平成22年の豪雨災害の爪痕がまだ残っていて、大雨になると今も時折交通止めになることがありますが、小中学校合わせて150人ほどの子どもがいます。その中から雨にも関わらず今回は大人10名、子ども6名の参加がありました。
最初に県立大島病院小児科の小川結実先生が医療ネットワークの活動内容・目的の報告をし、続いて大和村診療所歯科名越太先生から「乳歯から創める8020　健口生活に向けて」の講演頂きました。
歯が丈夫な方が元気なお年寄りが多い。
口の中に何か入ってる時間が長い＝口の中を酸性にしている時間が長い＝脱灰が進む＝むし歯になりやすい（1歳6か月で哺乳瓶を使っている人に虫歯が多い・3歳時で間食が多い人は虫歯が多い（糖分が口の中に長時間残る））。
むし歯の原因菌を感染させないためには子どもだけではなく周りの人も口のケアを。
乳歯が生えたら哺乳瓶の使用を止め、出来るだけ早く歯磨きの習慣化を行う。
離乳食からの食育で口腔機能を発達させるとともにむし歯を作らせない。
小学校までは仕上げ磨きを行ってむし歯のない永久歯列を迎えさせる。
など、改めて歯の大切さ・日々の努力の必要性を学びました。
次に、今村小児科アレルギー科の今村直人先生に「こどものアレルギー」の講演を頂きました。
アレルギーマーチ、アレルギーは多因子疾患で色々な因子が溢れると発症する、薬の役割はアトピー川の人口防波堤、喘息（運動誘発喘息もある）、アトピー（スキンケア：脱衣所で塗る、ステロイドの使い方、必要に応じて使えば怖くない、炎症をしっかり抑える）、食物アレルギー（「食べること」を目的とした最小限度の食品除去、成長を考慮して積極的に解除を図る）、保育所・学校との連携、血液検査のみならず総合的に判断、
など話して頂き、特にアトピーで笑顔のなかった子が、アトピーの改善とともに笑顔になった写真が印象的でした。
講演会の後は歯科・アレルギー・小児全般の部門に分かれて個別相談を行いました。計5家族の相談があり、「分かりやすかった」「気になっていたことが相談できた」などの感想も頂き、少人数ながら終始和やかな雰囲気でした。
今回は雨にも関わらず参加してくださった方、協力頂いた役場の方、講演の先生、誠にありがとうございました。
そしてまた医療ネットワークとして自分達で企画し活動できる機会があることもありがたく思います。